

自治体DXアクセラレータ500 プロジェクト

(都道府県と市町村が連携したDX推進体制の構築に向けたデジタル人材確保プロジェクト) 【新規】

○ 都道府県における人材プール構築の課題として、

- ① デジタル人材の採用に必要なノウハウが十分ではない
- ② 確保できるデジタル人材の質・量ともに十分ではない
- ③ 確保した人材の行政実務に関する基礎知識が不足しており、十分に活躍できない

との声が寄せられている。

➔ **デジタル庁など関係省庁や民間企業と連携し、これらの課題を一気通貫で解決し、DX推進体制の構築を強力に推進**

1.採用ノウハウの伝授

■ **総務省とデジタル庁が連携し、各都道府県の人材確保を支援**

支援項目の例

- ①管内市町村の課題を洗い出し・深堀
- ②業務と人材像の明確化
- ③採用工程・任用形態・管理体制の整理

■ **ノウハウ等を47都道府県に展開**

(人材確保イメージ)



2.人材の質・量の確保とコーディネート支援

■ **広報媒体も積極的に活用しながら、関係企業等に広く協力を呼びかけ、人材プールの候補となる企業・人材をリスト化**

■ **都道府県は、上記リストも活用しながら人材プールを構築。必要に応じ、関係省庁と連携して、都道府県と人材とのマッチング等をコーディネート**

■ プールされた人材を、「自治体DXアクセラレータ」に任命し、ネットワーク等についても継続的にフォロー。全都道府県・業界団体等に対し、好事例を積極的に周知・広報

➔ **全国で500名の任命を目指す**
※各都道府県10名+aのイメージ



3.行政知識の獲得

■ **基礎的な行政実務に関する研修メニュー・テキストを作成**

■ **自治大学校等で、採用が決定したデジタル人材に対し、行政実務研修を実施。**

